

C³プロジェクトでは、「東海村の環境と原子力安全について提言する会」を設置し、皆さんと一緒に、行政や事業者との議論の場や、必要なリスク情報づくりを進めることにしています。

4月から、参加していただいている住民の皆さんと議論を重ね、2つのプログラムの実施を決定しました。皆さんのお考えや要望を実現してみませんか。参加はいつでも受け付けています！！

東海村の環境と原子力安全について提言する会への参加 申し込み方法

参加申し込みチラシの裏面にあるハガキに必要事項をご記入の上、お申し込みください。

2004年3月31日まで受け付けています。

参加申し込みチラシは、C³プロジェクト事務局のほか、合同庁舎1階ロビー、駅、役場、核燃料サイクル開発機構（アトムワールド、リコッティ）、日本原子力研究所（インフォメーションプラザ東海）、日本原子力発電所（テラパーク）内に置いてあります。

12月の活動予定

月	火	水	木	金	土	日
1	2	3	4	5	6	7
	10~16時	10~16時	10~16時			
8	9	10	11	12	13	14
	10~16時	10~16時	10~16時			
15	16	17	18	19	20	21
	10~16時	10~16時	10~16時	16~19時 提言する会		
22	23	24	25	26	27	28
		冬休み ⇒ 年明けの活動は1月13日より始めます				
29	30	31				

予定は変更になる可能性がありますのでご了承ください。



原子力技術リスクC³プロジェクト事務局
〒319-1111 東海村舟石川821-52
東海村合同庁舎（1号館）2階
電話：029-287-1665
携帯：090-4674-0117
ホームページ：http://tokaic3.fc2web.com

しーきゅうぶ



2003年 12月 第6号

サイクル機構の視察を実施！

10月20日（月）サイクル機構東海事業所の現場視察を行いました

「東海村の環境と原子力安全について提言する会」では、住民の目で原子力事業所の安全対策を確認する視察を、10月20日（月）核燃料サイクル開発機構 東海事業所の再処理施設と廃棄物関連施設を対象に実施いたしました。この第1回視察には、「提言する会」より9名（1名は午前中のみ）、研究プロジェクト事務局より3名が参加しました。（報告概要は内側のページ）

朝8時50分に合同庁舎に集合し、サイクル機構のバスで東海事業所に出発。野村副所長の概要説明、ホールボディ（人体の放射線量測定）を経て、10時より12時30分まで再処理施設の説明を受け、昼食をとりながら13時50分まで各部署の責任者の方々7名と議論しました。

午後は、14時から放射性廃棄物処理施設を低レベル・高レベルとも見せていただきました。その後、再処理施設の現場指揮所に行きました。当日午後、その現場指揮所も使ったサイクル機構と茨城県警合同によるテロ対策訓練が行われていました。機密保持のため、訓練は見学できませんでしたが、そこまでしてテロに備えた訓練も実施していることを見聞きし、参加者は安心しました。最後のホールボディを受けて、再度、現場の担当者の方々を集まっていただき17時30分まで議論をし、退出しました。

着席していたのは、ホールボディの順番待ちと食事・議論の時間だけでしたが、参加者全員たいへん充実した1日を過ごしました。

9月10日の第1回実行委員会、10月2日の第2回実行委員会、10月14日の「提言する会」会合における事前説明と、十分な準備をして臨んだ視察でした。この視察の目的である

核燃料サイクル開発機構の再処理施設を対象に再処理施設の運転状況と廃棄物処理の方法について、設備上の安全対策と運転・作業する人の意識の面から、住民の視点で観察し、意見交換をすることが十分達成できたと、参加者一同満足しています。準備段階から積極的に対応していただいたサイクル機構の皆さん、懇切丁寧に私たちの質問に答えていただいた方々、本当にありがとうございました。

